

令和8年度第4回 新宿区外部評価委員会第1部会 議事概要

開催概要

開催日：令和8年8月21日（金）

場所：本庁舎6階 第4委員会室

出席者：

外部評価委員（5名）：竹内真雄（部会長）、戎井一憲、風間義民、大川内初実、大西秀明

区職員（3名）：林副参事（特命担当）、西崎主査、久住主査

議題

- 1 評価の取りまとめについて

議事要旨

1 評価の取りまとめについて

【主な議論・意見】

◆第1部会の評価方法について

【部会長】

この部会の評価方法について、案文を配付した。評価の決め方は、5人の委員の多数決で一番多かった評価を基本にし、2人、2人、1人等で分かれた場合は話し合いで決めたいと思う。

評価理由の記載は、各委員が判断する過程の表現は省略し、今後の取組の方向性に対する意見やその他意見・感想の欄は、個人的な意見と思われるものは省略したい。

また、重複した意見は一つにまとめ、疑問や質問については部会としての評価シートに入れるのではなく、事務局を通じて所管とやり取りすることで解消することとしたい。

◆計画事業 20① 建築物等の耐震性強化（建築物等耐震化支援事業）

【部会長】

評価が割れているので、順番に各委員のご意見を伺いたい。

私は、目標に達しなかったものはあるが、相手があることなので仕方がないという面もあり、区は対象企業の拡大、面積単価の引き上げ等に取り組んでおり改善が期待できるため、「計画どおり」とした。

外部的な要因で目標を達成できなかったときに駄目出しをすると、モラルが下がる場合があるので、それを心配しているという考えもある。

【委員】

部会長とほぼ同じ意見である。この事業は住民の事情によるところも大きいので、仕方ないのかなと思う。

【委員】

所管課へのヒアリングで、新宿区の耐震化率は96.6%で、東京都全体よりも進んでいると聞いた。全体の流れとしては客観的に見て計画以上なのではないかと思った。

【委員】

取組2のエレベーター防災対策改修助成は「計画どおり」で良いと思う。ブロック塀除去工事補助は、目標34件に対し実績が2件というのが引っかけ、「計画以下」と思ったので、評価を2つに分けた。皆さんの意見を伺って最終的に決めたいと思う。

ブロック塀については現地視察の際も色々状況をご説明いただき、非常に困難だということは理解しているが、目標設定の仕方に課題があったのではないかな。

【委員】

私も、ブロック塀の実績件数は気になっている。「新宿区耐震改修促進計画」を見ると、このところ件数は減少傾向となっている。ブロック塀がなくなっているのかとも思ったが、身近にも危険な万年塀等があり、地震が来たら確実に危ないと思う。

また、取組1で特定緊急輸送道路沿道建築物への周知啓発の実績が84棟となっている。84棟ということは、かなり残っているんじゃないかなと思う。こういった建物が2、3軒崩れてしまうと、道路の通行止めをせざるを得ないので、早急に取り組んでいただきたいということで、「計画以下」とした。

【委員】

ブロック塀の実績が2件というのは、私も少ないと思い、今後の取組の方向性に対する意見の欄で指摘した。しかし、この計画事業全体では、ブロック塀対策ではなく、建築物全体の耐震化が進んでいるかというのがテーマなので、まち全体の耐震化率で「計画以上」だと思った。

【委員】

数字で見るとそのとおりだが、現地視察や個人でのまち歩きを通じて、木造住宅密集地域等に入ると、大丈夫だろうかという建物がかかなりあるので、区全体の耐震化率が高いからといって万歳といえるわけではないと思って、辛口での評価をした。

【部会長】

ブロック塀の実績について様々ご意見をいただいた。私の意見だと、危険なブロック塀だからといって新宿区が勝手に壊すわけにもいかないが、今残っているものは、相続での代替わり等がないと状況が動かないものばかりではないかと思う。

だからといって、最初から2件を目標にすればよかったという話でもない。

【委員】

手元の冊子で令和3年度から5年度のブロック塀除去等への助成の実績が確認できる。いずれの年も10件を超えており、令和7年度の2件は極端に少なく感じる。また、区内に危険なブロック塀がなくなっているというわけでもない。やはり何度も足を運ぶとか、個別に色々な手法をご説明するというのが必要。それを今後どのようにしたらいいのかというのも一つの問題である。

【委員】

ヒアリングや視察の際に聞いた話で、ブロック塀の除却はブロック塀だけの問題ではなく、道路のセットバックが絡んでくる場合もある。そうすると建物の建替えのタイミングを待たねばならないので、年度によって差が出てくるのは理解できる。

事業全体を評価するのに、ブロック塀のことをあまり前面に出して、全体の評価に影響させるのはいかがかと思う。

【委員】

「計画どおり」と評価し、ブロック塀の実績が低いことについて注釈をつけるという書きぶりにするしか話はまとまらないのかなと思うが、如何か。

【委員】

セットバックしなければならないというのは別の話で、ブロック塀が危ないので生垣にしたりフェンスにしようというのが一つの目的だと思う。防災対策の強化という点からいうと、やはりブロック塀をもっと力を入れて除去するなり、安全対策を講ずるのが筋だと思う。

【部会長】

何回もアクションしても連絡がない人や、判断ができなくなっている人が持ち主として残ると、どうしても事業進捗のペースは遅くなる。委員の思いはわかるが、新宿区が勝手に壊すようなことはできない。

【委員】

区が勝手に撤去できないというのは当然だが、それに対する努力をどのようにしているかも重要。「計画どおり」とするのであれば、今後の取組として、本当に力を入れていただきたいというのを盛り込むようお願いしたい。

【委員】

内部評価の内容で、問合せはあるものの実施に至らない状況と書いてあるが、なぜ実施に至っていないのかというところは言及されていないので、内部評価に改善の余地があるのではないかと思う。事業全体の評価として、「計画どおり」としても良いが、ブロック塀に関しては過去に死亡事故が起きていることもあるので、強めの意見を書いてというのが折衷案かと思う。

【委員】

次年度（令和8年度）の目標が20件となっている。7年度の34件よりは少ないが、確認できる限り、過去の実績でも20件を超えていない。目標と実績のギャップがありすぎると担当者の意欲も落ちてしまうと思う。もう少し実現可能な目標設定が必要というのと、内部評価ではどうして実施できなかったというのが書かれていないので、そのあたりは強めに記載したい。

【部会長】

区は何もやらなかったわけではなく、面積単価や助成割合の拡充を行ったり、対象企業の拡大をしている。似たような状況で何も新しいことをやっていない事業は、私も「計画以下」としている。この事業は向上させようという取組が見えたので、「計画どおり」とした。

【委員】

「計画どおり」の意見が多いので、多数決なら「計画どおり」が良いが、十分でないところは十分でないという意思表示は出していただければと思う。

【事務局】

ヒアリングの際も同様のご質問があったので、その際の回答を改めて共有する。

ブロック塀除却の実施に至らない理由の一つとして、防犯上の観点から塀の存続を希望する所有者がいることがある。幅員4メートル未満の道路に面する敷地では、塀の建替え時にセットバックが必要となるため、敷地条件によっては新たな塀の設置が困難な場合がある。

そのため、ブロック塀の除却のみを進めることに対する理解を得ることが難しい場合があり、事業の活用につながりにくい状況がある。こうした課題を踏まえ、区では令和8年度に、既に道路拡幅が完了している道路に面するブロック塀を対象として、所有者への個別啓発を実施する予定である。

こうしたやり取りからも、所管課として課題を認識しており、その対応策についても先日のヒアリングで説明がなされていたものと理解している。

【委員】

自分の評価は「計画以上」としたが、皆さんの意見を聞くと、「計画どおり」で構わない。ブロック塀のことは今後の取組の方向性に対する意見欄に書くという形でまとめては。

新宿区は、色々な制度を拡充して、やっていることは結構ある。できる努力はしているので、「計画以下」はいかなものかなと思う。

【部会長】

この事業の部会の評価は、「計画どおり」として、今後の取組の方向性に対する意見でブロック塀のことを強めに書くという形としたい。

【委員】

それでよいが、エレベーターの件も、分かったようで分からないと思った。

【部会長】

わからない点は個別に質問して、もう一度回答をもらう形で。

【委員】

数字だけで判断してはいけないのではないかなと思った。まちづくりに関して、計画事業化されている地域以外のところは数字に入っていないのかとか、一部の地域以外を対象となっていないのかとか、色々疑問を感じるので、私たちも考え直さないといけないのではないかなと思い、色々意見を言った。

【部会長】

ご質問への回答は文書でいただければと思う。その他の意見・感想欄は、個人的な感想等は削る形でまとめる。

先ほど、既存不適格という言葉を出したが、生け垣をいじったから建替えろという話になると、結構厳しいかなと思う。

【委員】

そのとおりだと思う。建築基準法がますます厳しくなっていくが、今の法律ではもうこの建物はいじれないから放っておくしかないよねとなると、これが本当に防災対策なのかと疑問を感じる。

【部会長】

代替わりまで待つしかない件が多い。高齢の方だと、建替え時に仮住まいも難しく、時間がかかる案件が残っているのかなと思う。

【委員】

法律の壁が随分あると思う。

◆計画事業 20② 建築物の耐震性強化（擁壁・がけの安全化の総合的な支援）

【部会長】

本事業は、目標に達しない取組はあったものの、助成率や助成金額の拡充等を実施し、改善が期待できるため「計画どおり」としている。

【委員】

「計画どおり」で良いと思う。

【委員】

自分の評価を「計画以下」としたが、「計画どおり」に変更しても構わない。

【委員】

「計画どおり」とした。大企業がマンションを造るにあたって、がけや擁壁の工事を行い、危険な擁壁・がけは解消されるというのはあると思うが、環境に配慮した開発をしていただきたい。

【部会長】

部会としての評価は「計画どおり」とするのでよろしいか。

【委員】

資料を読むと分からないことでも、ヒアリングに出ていただいた管理職はきちんと把握をされていることがあり、資料への反映がされていない。次にさらに良くなるようにという視点の記載も加えてもらえるとありがたい。

【部会長】

それは加えたいと思う。職員は今までの流れが分かっているが、外部評価委員は提供された何年かの分しか見ていないので全体が分からないところがある。

【委員】

郵送で周知を行っている取組について、事業の活用につながる見込みがあるところにだけ送るという記載は、対象の精査をして経費削減や業務効率化を提案する意図で書いた。

【部会長】

郵送に際して人件費等も考慮して効率化を検討されたい、という感じで。

その他意見・感想の欄には、資料の記述の工夫についての先ほどのご意見を活かす形で。

【委員】

擁壁・がけのところは、やはり、ある程度環境にも配慮していただきたい。

◆計画事業 21① 木造住宅密集地域の防災性強化（木造住宅密集地域の整備促進（若葉・須賀町地区））

【部会長】

全員「計画どおり」としている。

用地取得や新規用地取得に向けた調査を計画どおり行って、広報活動も適切に行っていると思ったので「計画どおり」と評価した。

【委員】

問題なく「計画どおり」とした。ただ、2年で1%の進捗状況だと、目標まであと20年かかる計算となり、ちょっと遅いのではないかという意見は記載した。

【委員】

「計画どおり」としたが、先々何十年もかかるのかなという懸念はある。職員は少ない人数で一生懸命取り組んでいる。

【部会長】

部会の評価は「計画どおり」とさせていただく。

【委員】

別の地区で、複数の区画がまとまって大きなマンションか何かが建ったのを目にした。そういうきっかけがあれば一気に進むので、20年はかからないのではないか。

【委員】

マンパワーが必要な事業なので、人員増はもっと戦略的に区として考えるべきだという内容はどこかに加えてほしい。

【部会長】

人を増やせ、というのは外部評価委員会としては言いづらい。集中的な取組を行われない、という感じでまとめさせていただければ。

【委員】

同じくマンパワーが大事なので、人間味のあるような温かい配慮がないと事業が進みにくいと現地視察で感じた。

【部会長】

委員のご記載で「検討されてはどうか」とするとあまり職員を頻繁に異動させないようなというニュアンスが入ると思う。

【委員】

区に対して優しすぎるかもしれない。歌舞伎町近辺は発展途上で、まだ成果を見るには早いという気がしている。

【部会長】

地域との連携は当然だが、警察との連携も大切なので、そこも入れていただきたい。

◆計画事業 21② 木造住宅密集地域の防災性強化（不燃化推進特定整備事業（西新宿五丁目地区））

【部会長】

「計画どおり」と評価した委員が4人、「計画以上」が1人である。本事業は目標が順調に達成されている。

【委員】

目標が70%で74%達成してるので、「計画以上」と思った。

【委員】

「計画どおり」とした。ただし、まだ古い木造住宅が多いエリアもあるので、今後は経常事業となるということだが、残りの地域の取組も引き続きお願いしたい。

【部会長】

皆さんの意見だと、部会の評価は「計画以上」とすることになるか。

【事務局】

「計画以上」という評価は大変ありがたいが、令和6年度末の実績は既に74%となっている。また、令和7年度の主な取組としては、まちづくりニュースの発行などによる周知活動が中心となっている。

そのため、「計画以上」とするかどうかについては、令和7年度の取組内容も踏まえてご検討いただければと思う。

【部会長】

それでは、「計画どおり」としたい。

【委員】

計画事業は終わったが、まだ残っているエリアも努力していただきたいという話を入れたほうがいい。

◆計画事業 23 細街路の拡幅整備

【部会長】

委員5人中4人が「計画以下」と評価している。

私は、2年連続目標を下回っているのに新たな取組を何もしていないため、「計画以下」とした。

【委員】

部会長と同じ考えである。また、取組の「声かけ」の件数の設定理由もわからなかった。

【委員】

声かけをした件数であり、達成度を言っているわけではないので、20 件の設定は少ないと思った。また、細街路の箇所とキロ数は明確なのに声かけ対象件数がわからないのはなぜかという疑問もある。

【委員】

皆様の意見とほぼ同じで、「計画以下」とした。

【委員】

難しいといえば難しい。相手があるものだから計画どおりいかなかったと言えどそれで終わるが、予算は 97.9% 執行されており、これ以上は駄目なのかなというので一応計画どおり、と記載した。

声かけ実績 22 件のうち 2 件が工事実施見込みとなっているが、細街路の色々な問題を見たら、もっと積極的にやっていただきたいので、「計画以下」としてもよい。

【部会長】

部会の評価は「計画以下」とする。今後の取組の方向性に対する意見として、声かけの目標数の根拠が不明なので、目標設定の明確化を記載したいと思う。

【委員】

職員の努力の度合いが明確にならないので、評価できない。区民から見えてわかるような目標値を設定してほしい。

【委員】

区役所の職員の方は一定の能力を前提として仕事をされていると思うが、担当者によって対応に違いが生じることもあると思う。評価として書くかどうかは別として、組織として気づきを得られるような指摘を入れていただけるとありがたい。今後の新宿区がより良くなるためにも重要ではないかと思う。

【部会長】

声かけの定義を何人かの委員が質問したが、具体的なところがよく分からなかった。カウントの仕方がわからない。電話して、出なかったから留守番電話に残しただけで 1 件となると、3 分で終わってしまう。

【委員】

声かけという言葉をやめて、言葉を変えたらどうだろうかと思う。

【部会長】

声かけ等曖昧な表現はやめて、目標設定を明確化されたい、という感じの書き方で。

【委員】

我々の評価も、きちんと計画どおりに区役所の方々が仕事をしていただくために、どう伝えるかというのは考えてみたが難しい。

【部会長】

「計画以下」という評価は結構目立つので、所管には伝わると思う。

【委員】

職員の方にやる気を出してもらうのはすごく大事だと思う。視察に行ったときに思ったが、本当に大変な仕事だと思う。担当職員が頑張った部分は評価しつつ「計画以下」という感じがよいのかなと思った。

【委員】

やはり現場に管理職の方も含め何度も足を運んで、努力している姿を区民に見せていただきたいと思う。

【委員】

「計画以下」と評価した事業については、区側からはどういうものが私たちに返ってくるのか。

【事務局】

評価区分によって対応が変わるわけではない。いただいたご意見については、「今後の取組の方向性に対する意見」や「その他意見・感想」の欄に記載された内容を含め、区として今後どのように取り組んでいくのかを「区の対応」欄で回答させていただく。

【委員】

外部評価委員会に回答するだけでなく、区民に響かせるようなことを対応してほしいと思う。

【事務局】

外部評価の結果は最終的に議会へ報告している。その際、所管課による内部評価と外部評価の結果が異なる事業については、その内容を説明することになる。

そのため、今回そのような評価をいただくということは、事務局としても重く受け止めている。

【部会長】

今後の取組の方向性に対する意見の欄で、2年連続で目標を下回っているので、何か新しい取組をされたいということと、声かけという曖昧な表現をやめて、区民目線で目標を再設定されたいということを強めに書くのでよろしいか。

【委員】

今の書き方だと、実際に訪問しているのかわからない。もっと現場に足を運んで訪問していただきたい。

【委員】

区民からの相談があった敷地に対し22件と記載があるので、働きかけが区民からあり、それにきちんと対応しているということではないか。

【部会長】

例えば、税金の徴収の部署でいうと、目標はもっと具体的に立てられていると思う。声かけというのは漠然としすぎている。

◆計画事業 24 道路の無電柱化整備

【部会長】

全員「計画どおり」と評価している。

【委員】

特に問題ないと思う。ただ、進捗を把握することが難しいので、工事の予定距離と出来高距離、完成の時期とか、何かしら補助指標をつけたほうが分かりやすいと思った。

【委員】

「計画どおり」とした。ヒアリングで現在工事が進んでいる4つの路線を選定した理由をお聞きしたが、対象エリア以外の住民も評価シートは読むので、納得できる説明を今後は期待したい。

【委員】

今の計画に対しては「計画どおり」としているが、細街路等他の道路の電柱も何とかならないのかというのが本音である。

【部会長】

4つの路線の設定理由は私も少し引っかけた。設定理由は対外的な説明ができるようにしていただきたい。

◆計画事業 25① 道路・公園の防災性の向上（道路の治水対策）

【部会長】

「計画以上」が4人、「計画どおり」が1人という評価。この事業は実績が目標をかなり上回っている。

皆様同じ意見のようなので、「計画以上」とさせていただければと思う。

【委員】

昨今、予測がつかないくらい雨量が増えてきているので、環境変化に応じた目標値の設定が必要というのは重要な視点だと思い、記載した。

【部会長】

重要かと思う。目標設定をこまめに設定されたいとか、見直しも検討されたいというくらいの形で。

【委員】

今の内水氾濫という観点から見ると、この道路の舗装だけでは本当に追いつかないのが現状。河川対策を含めた、下水道の排水対策等も踏まえて、一緒に取り組んでいただきたいというふうに書いた。

【部会長】

豪雨が深刻化していることもあるので、他の事業との連携や目標設定の見直しも検討されたいとまとめる形でよろしいか。

【事務連絡】

・事務局より、今後のスケジュールについて説明した。